

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 渥美商工会

| 事業名             | 事業概要(背景・目的)   | 事業実績   | 主たる対象者 | 事業評価 |                           |    |                          |  |      |        |         |       |               | 備考  |        |     |       |   |       |
|-----------------|---|--|--------|------|---------------------------|----|--------------------------|--|------|--------|---------|-------|---------------|-----|--------|-----|-------|---|-------|
|                 |   |  |        | 目標①  |                           |    | 目標②                      |  |      | 得られた効果 |         |       |               |     | ABCD評価 |     |       | 今後の展開・改善点等  |       |
| 巡回・窓口相談指導事業     | 経営指導員等が小規模零細企業を中心とした事業所の経営指導や支援などを実施。コロナ関連相談、融資等の金融相談、従業員や企業規則等の労務相談、申告時期の税務相談など、経営全般について様々な相談への対応をすることにより健全な企業の育成と伴走支援を図る。窓口指導についても、今まで以上に門戸を広げ、経営改善に資する指導を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>巡回窓口指導実企業数 273企業 (内、非会員15企業 創業3企業)</li> <li>巡回窓口指導延件数 1,231件 (内、非会員74件 創業13件)</li> <li>課題解決提案件数21件</li> <li>経営革新承認件数1件</li> </ul> | 小規模事業者 | 指標   | 巡回窓口指導延件数<br>(達成度 205.2%) | 指標 | 課題解決提案件数<br>(達成度 105.0%) | 巡回窓口業務およびセミナーや公式LINE等を通じて、各種制度の情報提供を図ることで、小規模事業者の多様化する課題やニーズに対してワンストップに対応。事業再構築補助金や持続化補助金の申請相談も多く、小規模事業者の事業計画策定の必要性を気づかせ経営力向上へと繋げることができた。また、コロナ対策の緩和を目前に課題解決を積極的に取り組む事業者が自立し、事業継続に向けた伴走支援により課題解決へと繋げることができた。 | 総合評価 | B      | 事業実施評価の | 自己評価  | 調査結果<br>事業者への | 満足度 | 補足     | 目標① | 目標②   | 昨年に続き公式LINEやホームページを通じた情報配信を中心に小規模事業者と情報共有していく。そのため、引き続き公式LINEの登録者数を増やしていく。また、専門家派遣の活用や地元金融機関との連携による金融支援を始め、経営革新等の認定支援機関として各種制度支援を目指す。 |       |
|                 |   |  |        |      |                           |    |                          |  |      |        |         | A     |               |     |        | C   | 現行どおり |   | 現行どおり |
|                 |   |  |        |      |                           |    |                          |  |      |        |         | 目標達成度 |               |     |        | 必要性 | 実施方法① |   | 実施方法② |
|                 |   |  |        |      |                           |    |                          |  |      |        |         | A     |               |     |        | B   | 現行どおり |   | 現行どおり |
| 記帳継続指導          | 商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算等の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を支援する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業を進めていく上で、日々の記帳の重要性について理解していただくとともに、決算・申告に結びつく指導を行った。</li> <li>指導対象事業者数 81件</li> <li>指導日数 736日</li> <li>指導回数 771回</li> </ul>     | 小規模事業者 | 指標   | 指導対象事業者数<br>(達成度 98.8%)   | 指標 | (達成度 %)                  | 年間を通しての記帳指導と源泉・年調・決算申告の指導を通じ、申告納税制度への理解と正しい記帳による正しい申告の重要性を認識してもらえた。また、e-Taxによる電子申告も多くの事業主がその利便性を認識し、理解が深められた。  | 総合評価 | B      | 事業実施評価の | 自己評価  | 調査結果<br>事業者への | 満足度 | 補足     | 目標① | 目標②   | 自主申告納税制度への理解を深め、正しい記帳・申告を推進し、経営力の向上を支援していく。   |       |
|                 |   |  |        |      |                           |    |                          |  |      |        |         | B     |               |     |        | B   | 下げる   |   |       |
|                 |   |  |        |      |                           |    |                          |  |      |        |         | 目標達成度 |               |     |        | 必要性 | 実施方法① |   | 実施方法② |
|                 |   |  |        |      |                           |    |                          |  |      |        |         | B     |               |     |        | B   | 現行どおり |   |       |
| 講習会事業           | 多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な経営・金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、小規模事業者が抱える経営上の問題点に対応する実務的な講習会及び個別指導会を開催する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>集団 経営一般5回44人</li> <li>個別 労働1回2人</li> <li>金融1回2人</li> <li>税務18回142人</li> </ul>   | 小規模事業者 | 指標   | 講習会参加者数<br>(達成度 87.2%)    | 指標 | (達成度 %)                  | 小規模事業者の経営等に於いて、必要とされる事項を開催することができ、受講者の資質の向上を図ることができた。個別指導では専門家より指導を受けられ課題解決へと繋がり、経営計画に前向きな姿勢をとれるようになった。  | 総合評価 | A      | 事業実施評価の | 自己評価  | 調査結果<br>事業者への | 満足度 | 補足     | 目標① | 目標②   | 適宜ニーズにあった内容及び時期を思案し開催する。  |       |
|                 |   |  |        |      |                           |    |                          |  |      |        |         | A     |               |     |        | B   | 下げる   |   |       |
|                 |   |  |        |      |                           |    |                          |  |      |        |         | 目標達成度 |               |     |        | 必要性 | 実施方法① |   | 実施方法② |
|                 |   |  |        |      |                           |    |                          |  |      |        |         | B     |               |     |        | A   | 現行どおり |   |       |
| 祭典事業(仮称:あつみまつり) | 地域住民の賑わいやふれあいを通じて「まち」の活性化を図るとともに、今後の地域の産業発展と経済循環のため、コロナ対策を固りつつ「あつみまつり(仮称)」を開催し、地域の内側から「まち」の元気を促進する。   | コロナ感染防止対策が困難と判断し、本年度も中止とした。  | 商工業者   | 指標   | 実店舗参加企業数<br>(達成度 - %)     | 指標 | (達成度 %)                  | 大規模なイベント形式での開催はしばらく難しい状況であることから、市内などでマルシェ形式によるキッチンカーなどによる小規模なイベントが定着してきている。商工会としては出店者の経営支援を実施し販売促進に繋げることができた。  | 総合評価 | -      | 事業実施評価の | 自己評価  | 調査結果<br>事業者への | 満足度 | 補足     | 目標① | 目標②   | 商工会がイベントを主催するのではなく、商工業者が主体的に開催するマルシェ等での販促および経営支援などを実施していきたい。  |       |
|                 |   |  |        |      |                           |    |                          |  |      |        |         | -     |               |     |        | -   | 廃止    |   |       |
|                 |   |  |        |      |                           |    |                          |  |      |        |         | 目標達成度 |               |     |        | 必要性 | 実施方法① |   | 実施方法② |
|                 |   |  |        |      |                           |    |                          |  |      |        |         | -     |               |     |        | -   | 廃止    |   |       |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 渥美商工会

| 事業名                   | 事業概要(背景・目的)  | 事業実績  | 主たる対象者             | 事業評価                              |               |  |           |             |               |                         |                      |  |                                | 今後の展開・改善点等 | 備考  |        |     |     |
|-----------------------|--|---|--------------------|-----------------------------------|---------------|--|-----------|-------------|---------------|-------------------------|----------------------|--|--------------------------------|------------|---|--------|-----|-----|
|                       |  |   |                    | 目標①                               |               |  | 目標②       |             |               | 得られた効果                  |                      |  |                                |            |   | ABCD評価 |     |     |
|                       |  |   |                    | 目標数値                              | 実績数値          | 達成率  | 目標数値      | 実績数値        | 達成率           | 総合評価                    | 事業実施評価               | 調査結果   | 満足度                            |            |   | 補足     | 目標① | 目標② |
| 地域振興事業（貝づくし渥美事業）      | 渥美半島の観光資源を活かした物産品開発や観光サービスについて調査・研究・開発を行った結果、渥美の観光食材づくりの位置づけとして、「貝」を取り上げ、平成21年2月14日を皮切りに「貝づくし渥美」をスタート。内容は、渥美地区全域に「貝」を浸透させ、「貝づくし渥美」を根付かせ、観光客へ「貝づくし渥美」をPRし活気ある観光地への位置づけを目的とする。 | 協力店全体会議等 4回<br>イベント参加特産品出展3回<br>4月8日貝の日の実施<br>4.8キャンペーン応募受付(11/1~11/30デジタル応募)<br>スタンプラリーの実施(2/1~3/31)<br>渥美半島たはらブランド認定<br>・渥美あさりの押し寿司<br>・大あさり半平太<br>渥美半島菜の花まつり協賛参加<br>・加入件数15件 | 飲食店、宿泊施設を中心とした商工業者 | 指標<br>加入件数及び構成員数<br>(達成度 93.8 %)  | 指標<br>(達成度 %) | スタンプラリーの実施により、普段来店されない観光客等の集客成果が得られ参加店舗の経営意欲の向上を図ることができた。  | 総合評価<br>B | 事業実施評価<br>B | 調査結果<br>事業者への | 自己評価<br>B<br>目標達成度<br>B | 満足度<br>C<br>必要性<br>B | 補足<br>観光資源である貝の漁獲量が減少した状態がどのようになりPRすべきか課題解決策を検討する。               | 目標①<br>下げる<br>実施方法①<br>実施方法②   | 目標②        | 行政・漁業組合等と連携を図り、貝の需要と供給のバランスを認識しながら、渥美半島で採れる貝のおいしさをPRすることで店舗の集客へと繋がるイベントを企画する。   |        |     |     |
| 商工業振興事業（ポイントカード等推進事業） | ポイントカード事業の推進により、顧客確保、商圏内からの購買力の流出防止や大型店対策を図り、商工業者の発展及び地域産業の活性化を図る。   | 販売促進並びに消費者サービスを目的として、カード事業の宣伝活動及び共同売出し、キャッシュレス現金チャージ等のイベントを開催。<br>折込チラシ17回<br>販売促進イベント回数20回   | 事業加盟店              | 指標<br>販売促進イベント回数<br>(達成度 100.0 %) | 指標<br>(達成度 %) | 隣接する地域のカード事業と共同でイベントや店舗情報を消費者へアピールすることによるスケールメリットを感じられ、新規顧客の確保・購買力の流出防止に繋げることができた。<br>キャッシュレス決済の利便性が徐々に浸透し、加盟店利用者が増えてきた。 | 総合評価<br>B | 事業実施評価<br>B | 調査結果<br>事業者への | 自己評価<br>B<br>目標達成度<br>A | 満足度<br>C<br>必要性<br>C | チャージ金の有効期限(6ヵ月)が満足度を下げている主な要因だが、許認可の関係上改善は難しいため、明確なPR方法を検討し対応する。 | 目標①<br>現状どおり<br>実施方法①<br>実施方法② | 目標②        | 田原カードと連携し、イベントがマンネリ化しないように常にイベント内容を精査し、加盟店の負担にならない、簡単で誰もが楽しめるイベントを模索する。<br>また、チャージ金を失効させないよう、利用者や加盟店へ周知し、消費者の満足度向上を目指す。 |        |     |     |
| 観光振興事業（クリーン事業）        | 地域小規模事業者が一体となって、渥美半島＝観光地という認識を高め、お客様を迎える体制作りをする為にも、観光地にとって大きな比重を占める清潔度を取り上げ、小規模事業者による渥美半島クリーン事業を行う。  | 新型コロナウイルス感染症感染防止の観点より、従来の一堂に会し一点を重点的に清掃することから、事業所がそれぞれ事業所周りの清掃をするに変更。結果、きれいな渥美半島のイメージへと繋がりを、魅力ある観光地へと形成された。<br>開催期間<br>令和4年6月10日～16日<br>参加事業所 9件<br>参加者数 54人                    | 商工業者、ボランティア        | 指標<br>参加者数<br>(達成度 54.0 %)        | 指標<br>(達成度 %) | 渥美半島（伊良湖岬）は観光地であるという認識を高め、企業が協力し合って、観光客を迎える体制作りができ、「綺麗な渥美半島（観光地）」のイメージを形成することができた。また「ごみを捨てることより捨てない心・捨てさせない心を養う」ことができた。  | 総合評価<br>B | 事業実施評価<br>B | 調査結果<br>事業者への | 自己評価<br>A<br>目標達成度<br>C | 満足度<br>B<br>必要性<br>C | 補足   | 目標①<br>廃止<br>実施方法①<br>実施方法②    | 目標②        | 今後は商工会がイベントを主催・開催するのではなく、市・地域・事業所等が自主的に実施する清掃事業の支援を行っていく。   |        |     |     |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 渥美商工会

| 事業名                | 事業概要(背景・目的)  | 事業実績  | 主たる対象者         | 事業評価                                  |     |  |                   |       |  |   |      |   |                                 |      | 今後の展開・改善点等 | 備考 |                |  |
|--------------------|--|---|----------------|---------------------------------------|-----|--|-------------------|-------|--|---|------|---|---------------------------------|------|------------|----|----------------|--|
|                    |  |   |                | 目標①                                   |     |  | 目標②               |       |  | 得られた効果  |      |   | ABCD評価                          |      |            |    |                |  |
| 人材育成事業（外国人実習生受入事業） | 外国人技能実習生受入企業の活性化と国際貢献を目的として、外国から意欲ある優秀な若者を受け入れ、わが国の優れた「技術・技能・知識」を職場で実際に作業をしながら習得し、帰国後に母国の産業振興に寄与できる人材の育成を図る。 | 新規受入人数 9人<br>企業巡回24回<br>技能検定試験の実施   | 渥美商工会<br>会員    | 指標<br>技能実習生新規受入人数<br><br>(達成度 81.8 %) |     |  | 指標<br><br>(達成度 %) |       |  | 小規模事業者の慢性的な人材不足が、技能実習生の受け入れを行うことで安定的な人材を確保し生産活動を維持継続が可能となっている。                            | 総合評価 | C | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>調査<br>結果 | 自己評価 | 満足度        | 補足 | 目標①<br><br>目標② | 新たな受け入れ企業の発掘に努める。  |
|                    |  |   |                | B                                     | C   | 外国人実習生の失跡、業務の慣れから来る実習実施姿勢の悪化が満足度低下の要因となっている。送出し機関通訳を通じ、きめ細かなサポートを実施していく。 | 下げる               |       |  |   |      |   |                                 |      |            |    |                |  |
|                    |  |   |                | 目標達成度                                 | 必要性 |  | 実施方法①             | 実施方法② |  |   |      |   |                                 |      |            |    |                |  |
|                    |  |   |                | 目標数値                                  | 11  | 実績数値   | 9                 | 目標数値  |  | 実績数値  |      | B | C                               |      | 現行どおり      |    |                |  |
| 青年部事業              | 青年部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。  | 研修会およびコミュニティ活動の開催、及び地域活性化事業等の本会事業への参加。また、随時、常任委員会を開催。<br><br>青年部事業回数 54回                  | 青年部員           | 指標<br>事業の開催回数<br><br>(達成度 135.0 %)    |     |  | 指標<br><br>(達成度 %) |       |  | 青年部事業を通して、地域リーダーの後継者を育成し、同世代の仲間との交流や各種事業実施の経験をする過程において自分を磨き、企業及び地域の後継者としての知識の習得や人格形成ができた。 | 総合評価 | B | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>調査<br>結果 | 自己評価 | 満足度        | 補足 | 目標①<br><br>目標② | 部員の年齢卒業等で部員数は減少傾向にある。部員による声掛け、新入会員候補者を青年部事業に招待する等、会員増強に繋げる。また新規事業を企画・開催し、青年部員資質の向上を図る。           |
|                    |  |   |                | B                                     | B   |  | 現行どおり             |       |  |   |      |   |                                 |      |            |    |                |  |
|                    |  |   |                | 目標達成度                                 | 必要性 |  | 実施方法①             | 実施方法② |  |   |      |   |                                 |      |            |    |                |  |
|                    |  |   |                | 目標数値                                  | 40  | 実績数値   | 54                | 目標数値  |  | 実績数値  |      | A | B                               |      | 現行どおり      |    |                |  |
| 女性部事業              | 女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。  | コミュニティ活動の開催、及び視察研修等の企画、立案等。また、随時、常任委員会を開催。<br><br>女性部事業回数 16回                             | 女性部員           | 指標<br>事業の開催回数<br><br>(達成度 80.0 %)     |     |  | 指標<br><br>(達成度 %) |       |  | 経営への参画、経営に必要な知識の習得の他、市場動向(感染症対策)を考慮した各種事業等への企画・立案を通じて他業種間での交流と自己啓発が図られた。                  | 総合評価 | B | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>調査<br>結果 | 自己評価 | 満足度        | 補足 | 目標①<br><br>目標② | 部員の高齢化と事業の廃業等による部員数は減少傾向にある。魅力ある企画と事業を充実させ部員増強に繋げたい。   |
|                    |  |   |                | B                                     | B   |  | 現行どおり             |       |  |   |      |   |                                 |      |            |    |                |  |
|                    |  |   |                | 目標達成度                                 | 必要性 |  | 実施方法①             | 実施方法② |  |   |      |   |                                 |      |            |    |                |  |
|                    |  |   |                | 目標数値                                  | 20  | 実績数値   | 16                | 目標数値  |  | 実績数値  |      | B | C                               |      | 現行どおり      |    |                |  |
| 労働保険事業             | 事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。    | 算定基礎賃金報告書に基づき労働保険料の申告・納付(3期)。労働保険に関する各種届出の事務手続。巡回・窓口指導など従業員把握とともに、加入促進。<br><br>委託事業所数 50件 | 従業員を雇用している商工業者 | 指標<br>委託事業所数<br><br>(達成度 94.3 %)      |     |  | 指標<br><br>(達成度 %) |       |  | 労働保険料の納入を始め、各種事務手続を代行することで、商工業者の事務の負担軽減が図れた。また、労働保険相談窓口として対応でき、企業の適正な労働保険業務に繋がった。         | 総合評価 | B | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>調査<br>結果 | 自己評価 | 満足度        | 補足 | 目標①<br><br>目標② | 新規加入もあるが、それ以上に廃業や労働者不在による委託解除が多かった。純増を多指して事務組合制度のPRを継続的にすることと共に、労働保険加入者の掘り起こしをして事務組合への加入促進を図りたい。 |
|                    |  |   |                | B                                     | B   |  | 下げる               |       |  |   |      |   |                                 |      |            |    |                |  |
|                    |  |   |                | 目標達成度                                 | 必要性 |  | 実施方法①             | 実施方法② |  |   |      |   |                                 |      |            |    |                |  |
|                    |  |   |                | 目標数値                                  | 53  | 実績数値   | 50                | 目標数値  |  | 実績数値  |      | B | B                               |      | 現行どおり      |    |                |  |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 渥美商工会

| 事業名               | 事業概要(背景・目的)  | 事業実績   | 主たる対象者          | 事業評価 |                           |      |     |      |         |        |  |  |           |             | 備考   |               |     |                       |     |     |   |       |       |       |
|-------------------|--|--|-----------------|------|---------------------------|------|-----|------|---------|--------|--|--|-----------|-------------|------|---------------|-----|-----------------------|-----|-----|---|-------|-------|-------|
|                   |  |  |                 | 目標①  |                           |      | 目標② |      |         | 得られた効果 |  |  | ABCD評価    |             |      | 今後の展開・改善点等    |     |                       |     |     |   |       |       |       |
| 税務関係団体指導事業（法人会事業） | 法人会の税務支援・地域貢献の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。                     | 法人会本部及び関係団体との情報交換や連携を密にし組織強化を図った。<br>本部事業 18回<br>支部事業 9回   | 法人会会員           | 指標   | 各種事業の回数<br>(達成度 135.0%)   |      |     | 指標   | (達成度 %) |        |  | 支部事業を実施することで、地元経営者への税務の啓発を図った。その他にセミナーの開催、管内の小学校新一年生への「れんらくちょう」を配布し、法人会活動のPRを図った。  | 総合評価<br>A | 事業実施評価<br>A | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への | 満足度 | 補足                    | 目標① | 目標② | 従来の感染防止対策を図りつつ通常の事業活動を柔軟に実施すると共に、会員に向けた税の啓発を図る事業や社会貢献事業を実施していく。   |       |       |       |
|                   |  |  |                 | 目標数値 | 20                        | 実績数値 | 27  | 目標数値 |         | 実績数値   |  |  |           |             | A    |               | B   | 新型コロナウイルス感染症により一部事業中止 |     |     |   | 現行どおり |       |       |
|                   |  |  |                 |      |                           |      |     |      |         |        |  |  |           |             | A    |               | B   | 必要性                   |     |     |   | 実施方法① | 実施方法② |       |
| 税務関係団体指導事業（青申会事業） | 青色申告会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。              | 源泉徴収事務、年末調整事務、決算・確定申告事務の指導会、税務研修会を開催。<br>連合会及び関係団体との情報交換や連携を密にし組織強化を図った。<br>役員会等 5回<br>税務指導会 18回<br>管内事業への出席 5回<br>関係団体への出席 0回                 | 青色申告会会員         | 指標   | 各種事業の回数<br>(達成度 80.0%)    |      |     | 指標   | (達成度 %) |        |  | 所得税を中心とした、源泉や年末調整、決算書作成及び消費税等、年間をとおしての指導会の開催により会員の方の税知識の向上を図るとともに、実際の申告等の業務においても円滑な処理を行うことが出来た。                                      | 総合評価<br>A | 事業実施評価<br>A | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への | 満足度 | 補足                    | 目標① | 目標② | 自主記帳・申告納税が浸透してきたが、青色申告のメリットである65万円控除の要因となる複式帳簿を作成している会員が少ない。会計ソフト等を利用した複式帳簿作成を推進し、会員の記帳能力向上に努めたい。           |       |       |       |
|                   |  |  |                 | 目標数値 | 35                        | 実績数値 | 28  | 目標数値 |         | 実績数値   |  |  |           |             | A    |               | A   | 必要性                   |     |     |   | 下げる   | 実施方法① | 実施方法② |
|                   |  |  |                 |      |                           |      |     |      |         |        |  |  |           |             | B    |               | A   | 現行どおり                 |     |     |   |       |       |       |
| 若手後継者等育成事業        | 若手後継者である青年部員が、地域経済の発展（マクロ）と小規模事業者の持続的な発展（ミクロ）の両面から、その課題解決に向けた取り組みを行うことで、地域経済の中心を担っていく者としての資質の向上を目的とする。 | 鳥羽伊良湖観光交流事業<br>第1回<br>応募期間 7月17日～10月31日<br>応募数：410通<br>第2回<br>応募期間 12月19日～3月19日<br>応募数：515通<br>鳥羽伊良湖アゲアゲ超感謝祭<br>開催日3月18日（土）<br>食べ比べ対決参加者数：417人 | 一般参加者<br>小規模事業者 | 指標   | 友情クイズ応募者数<br>(達成度 925.0%) |      |     | 指標   | (達成度 %) |        |  | 広域的な連携を行うことで、田原市の魅力的な地域資源をより広くPRし、地元客はもちろん、観光客の取り込みができた。青年部員が地域経済の問題に対し常に意識を持つ感覚を養い、解決に向けた経験を得ることで、地域経済の中心を担っていく者としての資質の向上を図ることができた。 | 総合評価<br>B | 事業実施評価<br>B | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への | 満足度 | 補足                    | 目標① | 目標② | 鳥羽伊良湖航路で繋がっている鳥羽市、鳥羽商工会議所青年部との交流を再構築し、交通機関である伊勢湾フェリー乗船客の増加を目的とした企画を実施する。お祭りイベントの実施を再考し、持続的に実施可能な企画を考えていきたい。 |       |       |       |
|                   |  |  |                 | 目標数値 | 100                       | 実績数値 | 925 | 目標数値 |         | 実績数値   |  |  |           |             | B    |               | C   | 必要性                   |     |     |   | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② |
|                   |  |  |                 |      |                           |      |     |      |         |        |  |  |           |             | A    |               | B   | 現行どおり                 |     |     |   |       |       |       |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。